

令和6年3月議会一般質問答弁要旨

■市長の施政方針について

(1)公共交通機関推進事業について

ア Web予約システムの導入目途について

イ 公共交通確保維持支援金の対象者に関する考え方について

- デマンド交通Web予約システムの導入目途については、令和6年7月上旬を予定し、現在、デマンド交通の運行管理システム開発事業者と詳細の確認を行っている。
- Web予約システムの導入は、多くの利用者からの要望に応え、24時間の予約受付、予約状況及び運行状況が可視化され、従来の電話予約と併せて2つの予約方法を設けることで、利用者の更なる利便性向上につながるものと考えている。
- 現在、全国的に問題となっている公共交通の運転手不足への対応として、本市独自の取組となる「公共交通確保維持支援金」を創設する。市内に停留所を設置しているバス事業者、市内に営業所を設置しているタクシー事業者、市からデマンド交通の運行を受託している事業者、千葉県外からの移住者で、ドライバーとして就職する55歳未満の個人の方を対象に、支援金として単身世帯で30万円、2人以上の世帯で50万円、12歳以下のお子さんがいる場合は1人につき15万円、最大3人分まで加算し、交付する。
- 対象者の条件については、対象事業者となるバス・タクシー事業者との調整により、長期で正社員として働いていただくことを前提に年齢を55歳未満とし、また、千葉県内の本市の支援金対象外である公共交通事業者に配慮し、県外からの移住者とした。
- 条件については、募集開始後の問合せ状況や内容を注視し、柔軟に対応することとし、バスやタクシーの運行確保・維持に努めていく。

■施政方針について

(2) その他の主な事業について

ア 公共交通機関推進事業について

- 公共交通機関推進事業については、鉄道駅のない富里市において、充実した市民生活における移動手段を確保するため、市民ニーズにきめ細かに対応できる地域公共交通として、デマンド交通キャロリン号の運行などを実施している。
- デマンド交通キャロリン号は、令和4年10月1日の運行開始から令和6年1月末日現在、延べ55,281人方に利用いただいております、市民の外出手段の1つとして定着しつつある。
- 令和6年度の新たな取組としては、多くの利用者から要望を頂いていた、デマンド交通のWeb予約システムについて、令和6年7月上旬を目途に導入を計画している。また、全国的に問題となっている公共交通の運転手不足への対応として、本市独自の取組となる「公共交通確保維持支援金」を創設する。
- 今後も地域公共交通の確保・維持に向け、公共交通事業者と連携し、取り組んでいく。